

社会福祉士 実習のご案内

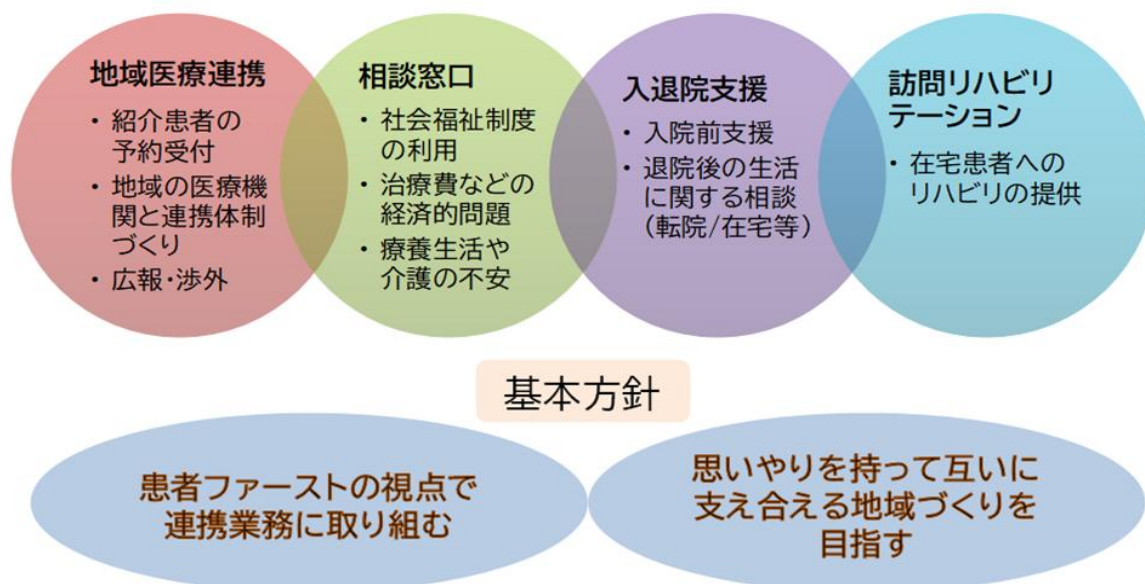
●地域医療連携課のご紹介

ご覧いただきありがとうございます。

地域医療連携課は、患者ファーストの視点と思いやりを持って互いに支え合える地域づくりを目指すことを基本方針として、地域と病院をつなぐ役割を担っています。通院～入院～退院と支援を必要とする患者さんに対して看護師、事務職、理学療法士、社会福祉士の多職種で協働しながら切れ目のない支援をこころがけています。

地域と病院をつなぐ:地域医療連携課

事務・社会福祉士・看護師・理学療法士が協働して業務



●当院での実習をご希望の方へ

「赤十字のソーシャルワーカーとして急性期というフェーズにおいても患者さんを生活者として捉え、社会福祉の専門職として相談援助を行い、地域連携の中心的な役割を担う」ことを目指すべきソーシャルワーカー像として、ソーシャルハイリスクを抱える患者さん等へもアプローチしています。

■一期一会

入院患者さんの平均在院（入院）日数は10日前後です。

そのため、入院中にクライアントとお会いできる機会が限られており、インテーク面接の中でアセスメント、支援計画の策定が展開されることもあります。

■ハブ的役割

危機的な状況の中でクライアントとともに考え、関係職種や他機関と連携し、方向性・道しるべをつくり、次の支援者に支援のバトンを繋ぐ役割を担っています。



■様々なケース

いわゆるソーシャルハイリスクを抱えたクライアントへの支援を通して、支援の幅を広げることができます。

例)

経済的困窮問題、ホームレス状態の方、独居・身寄りのいない方、行旅人、家庭内暴力・虐待、介護者・キーパーソン不在、ヤングケアラー

急性期病院における社会福祉士の役割、医療現場におけるソーシャルワークの展開過程、地域医療連携について学びを深めたい方は当院での実習を是非ご検討ください。

●実習の1日の流れ

- 8：30 実習開始
- 8：30 カルテ確認
- 9：00 カンファレンス同席
- 10：00 面接同席
- 12：00 休憩
- 12：45 実習記録作成
- 13：00 多職種チームラウンドの同席
- 15：00 ロールプレイ
- 16：00 実習記録の作成、振り返り
- 17：00 実習終了

※内容は日々変更となります。

